

I. 基本方針

1. 九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP）の方向性

- ・ 環境エネルギーを巡る経済社会環境は大きく変わろうとしている。
- ・ 資源有効利用社会から循環経済へ変貌
- ・ 3R による資源の有効利用から、今日、資源を利用し続け、新たな価値と成長を生む循環経済を目指す時代へと変貌している。また、SDGS・ESG 投資や EU を中心に導入が進むサーキュラー・エコノミーが世界の新たなビジネスルールとなりつつある。
- ・ 循環経済を牽引するビジネスが発生し、新しい発想が必要となっている
- ・ ゴミを出さないリサイクル、リマニュファクチャリング、シェアリング、IoT 等を利用したモニタリングサービス等の新しい環境ビジネスが発生するとともに、環境・エネルギーを巡る情勢は多様化・複雑化し、従来の発想やアプローチでは通用しなくなっており、新しい発想や外部資源の活用あるいは海外との連携、さらにこれらを進める人材の育成が不可欠となっている。
- ・ 急速に浸透するデジタル化と活用するプラットフォームの重要性が拡大
- ・ デジタル技術の急速な進展、市場ニーズと技術の早い変化、データや AI を駆使した新しいビジネスが発生する中、これからの変化に対応するには、自社の強みの部分を開発し、それ以外は開放（オープン化）して、外部の経営資源を取り込む「オープン＆クローズドイノベーション戦略」が重要となっており、その場を提供するプラットフォームとしての K-RIP の役割は高まっている。
- ・ アジアや新興国等の地球規模に広がる公害問題や環境汚染等の課題解決市場が拡大
- ・ 地球規模に広がる公害問題や環境汚染等の課題を解決し、市場を獲得するための海外交流窓口として官民一体型を特徴とする K-RIP の役割も増大している。
- ・ このような中、設立後 21 年目を迎えた K-RIP は、いち早く、時代と内外の動向や会員ニーズを捉え、これまでに蓄積された技術力・人材力・ネットワーク力・組織力を活かし、顧客の価値を最大化することにより、九州を世界に通用する競争力を有した環境・エネルギー産業の先導的地域とすると同時に循環経済へ転換を目指す。
- ・ そのため、まず、次の 4 つを基本的方向とする。
- ・ K-RIP 認知度を上げてブランド化する。情報発信・提供、人材育成等を通じた新潮流分野の取込み、オープンイノベーション等を通じた外部資源の取込み、官民一体型海外交流等を通じた海外市場の取込みを行う。
- ・ 特に、動画配信やプレスへの露出の機会を増やし、内外への K-RIP のプレゼンスを高める。

2. 令和2年度の重点事業

(1) メディアミックスによる情報発信・提供事業の推進

- ・ K-RIP の認知度向上や会員拡大を目的として、SNS や動画等のメディアを利用して K-RIP の事業等を外部へ発信する。また、環境クラスター大学等の特徴ある事業のプレス発表や取材依頼等のメディアへの露出を拡充する。
- ・ 具体的には、会員ニーズを踏まえ、循環経済等の国の環境・エネルギー政策や関連法令及び内外の環境・エネルギー市場や新しいビジネスモデルや技術等の最新動向等の情報を HP で情報発信するとともに、簡潔に分かりやすい工夫をしたメルマガ配信、Facebook の立ち上げ、K-RIP の特徴的な事業のプレス発表と取材依頼等のメディアの活用、K-RIP の各事業で発表されたデータや国等の施策をまとめた活字媒体のデータ集を作成・発行する。

- ・また、会員の相互のネットワーク形成や最新情報を得るとともにマッチングの場として評価が高い「エコ塾」は、新潮流分野の取込みや外部資源の取込みを念頭に、先導的取り組み等を紹介する。
- ・さらに、オープンイノベーション等を通じた外部資源の取込みを目的として、九州外の大手企業が提案した技術等と K-RIP 会員企業等とのマッチングを行う。

(2) 中核企業や協力企業群による地域経済を牽引する環境・エネルギービジネスの創出

- ・地域への受発注や雇用吸収等の地域への波及効果の高い企業及び協力企業を中核企業群として、技術開発から海外展開を集中的に支援することにより、地域全体への波及による活性化を支援する。
- ・地球温暖化防止と経済成長の同時達成を実現するためのサーキュラーエコノミー（CE）のビジネスモデルを開発・実証する。具体的にはプラスチックと食品を対象とした技術開発ビジネスモデルを創出する。
- ・また、特定分野の廃棄物減容化技術の開発等の産学連携、研究会、ビジネスマッチング等による資源循環型の成長モデルを推進する。
- ・舗装用材料（石炭灰）、紙おむつ、廃棄物処理装置、廃棄物収集・処理管理システムなどの開発・実証から内外への販路拡大までの一貫支援のモデルを構築する。
- ・これらの事業を通じ、地域に波及効果がある中核企業に新製品・サービスの開発・改良及び販路拡大を支援するとともに、成果等の一層の波及とビジネスモデルの横展開を促進する。

(3) 海外ビジネス展開の深化

- ・九州の環境エネルギー企業に蓄積された技術やノウハウ、商品等の市場を拡大するためアセアンや台湾の企業、業界、行政機関等との交流を促進する。
 - ・具体的には、経済発展に伴うリサイクル等の環境問題が顕在化しているアセアン及び循環経済社会の構築を重要政策に掲げ、日本等と連携して、自国のみならずアセアンへの環境ビジネスの展開を図る台湾への販路拡大や現地展開を支援するため、会員企業等のニーズを踏まえ、精度の高いマッチングやネットワーク形成の企画・実施を通じ、九州の環境・エネルギー産業の国際競争力の強化を図る。
- また、中国やアジアの環境・エネルギービジネスに携わる企業等による最新のビジネス情報や市場及び国の政策を提供するセミナー等を開催し、アジア等への展開に必要な現地の環境団体・企業等のパートナーとのネットワークを形成する。

3. 令和2年度の事業目標

- ・令和2年度の事業目標は、次の3部会が企画・推進する事業を契機として、会員企業や参加企業において達成された、以下の指標を数値目標とする。

事業目標（注1）

事業目標指標	数値目標
・新製品・サービスの創出数	14 件以上
・業務提携や取引成約数（注2）	50 件以上
・売上額	3 億円以上
・新規雇用数	48 人以上

（注1）九州地方成長産業戦略（2016年度～2025年度）におけるアジアクリーンクラスター戦略展開プロジェクトに掲げる設定目標を元に各年度目標を設定。（2025年までに新規事業数 250 件、売上増加額 40 億円、新規雇用数 480 人）

（注2）生産提携、販売提携、技術提携、資本提携、秘密保持契約、MOU、販売・納入契約等

3 部会が企画・推進する事業

<部会名>

<令和2年度事業>

<p>情報・交流部会</p>	<p>(1) メディアミックスによる情報発信事業〈K-RIP 会費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ホームページ・メルマガ等を活用した情報提供 ② K-RIP データ集の発行 ③ Facebook の立ち上げ、プレス発表等のメディアの活用 <p>(2) 情報提供&マッチング事業〈K-RIP 会費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 総会、役員会 ② エコ塾 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員相互及び会員外とのネットワーク形成とマッチング ③ 環境エネルギー関連支援施策セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・ 内外の最新ビジネスや新しい潮流等を紹介し、参加者のマッチング機会を提供 ④ オープンイノベーションピッチ <ul style="list-style-type: none"> ・ 九州外の手企業と K-RIP 会員等の具体的なビジネスに直結するマッチング
<p>ビジネス創出部会</p>	<p>(3) 令和環境クラスター大学〈K-RIP 会費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい潮流等の今後の環境エネルギー関連ビジネスのテーマ等を習得するとともに、人的ネットワークやオープンイノベーションの基盤を形成する合宿型の人材育成事業 <p>(4) 地域企業イノベーション支援事業〈経産省委託費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ① -2°C時代を捉える「サーキュラーエコノミー（CE）九州」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・ CE 型プラのリサイクルの高効率化（一次選別・24 時間連続運転等） ・ 食品残渣の再資源化・高付加価値のためのサプライチェーンの構築 ② 循環経済社会構築のための廃棄物減容化とリサイクルを促進する革新的ソリューション（技術・装置・システム）の開発とアジア展開事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 舗装用材料（石炭灰）、紙おむつ、廃棄物処理・装置、廃棄物収集・処理管理システムなどの開発・実証から内外への販路拡大までの一貫支援
<p>国際ビジネス部会</p>	<p>(5) 地域企業イノベーション支援事業〈経産省委託費〉（再掲）</p> <p>(6) 台湾環境・エネルギー産業交流事業（日本台湾交流協会助成金 応募予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加企業等のニーズに沿った台湾の企業・団体等との個別ビジネスマッチング <p>(7) ベトナム循環型経済プロジェクト形成促進事業（貿易・産業協力振興財団助成金）</p>
<p>その他</p>	<p>(8) マネージャー、K-RIP 事務局等によるコーディネート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員のニーズ等の継続的な収集とコーディネート

II. 個別事業計画

1. 情報・交流部会

- ・K-RIPの内外の認知度を向上させるため、会員等のニーズを踏まえ、環境エネルギーに関する最新のビジネスや施策等の動向を提供するとともに、K-RIPの活動を動画等のメディアを利用してリアルタイムで発信する。また、会員等のネットワークの構築とマッチングを支援するため、新しい潮流（サーキュラーエコノミー等）や太陽光等の新エネルギーの今後のビジネス展開に有用なセミナーを開催する。

(1) 情報発信事業〈K-RIP会費 100万円〉

- ・K-RIPの認知度向上、会員拡大を目的として、K-RIPの活動や環境エネルギーの最新動向やビジネス等をK-RIP外部に対し情報発信を行う。また、会員ニーズを踏まえ、ビジネスに有用な情報を事務局が仲介して、継続的かつきめ細かに提供する。

① ホームページ・メルマガ及びメディアを活用した情報発信

- ・K-RIPの事業や会員企業の紹介、国等の支援制度、環境エネルギー関連の国等の助成制度や循環経済（サーキュラーエコノミー）やSDGs等の考えを取り込んだビジネス等の九州域内外の環境エネルギーに係る動向等を発信する。
- ・簡潔で分かりやすいK-RIP事業の広報としてのメルマガ発信を行う。Facebookを立ち上げリアルタイムのK-RIP事業の周知とコミュニケーションの構築を促進する。
- ・K-RIPの特徴的な事業等のプレス発表や取材依頼等のメディアを活用した情報の発信を行う。

② K-RIPデータ集の発行

- ・会員等の今後の事業に役立つような、会員の技術や国の環境エネルギー施策や補助制度の活用方法、資源循環経済の動向等の紹介及びK-RIP事業で発表されたデータ等を紹介するデータ集を発行する。

(2) 情報提供&マッチング事業〈K-RIP会費 150万円〉

- ・K-RIP会員への情報提供、マッチング強化を目的として、新潮流の動向、先進事例、業界動向等の情報提供及びマッチング事業を行う。

① 総会等の開催

- ・K-RIPの事業実績、事業計画等を審議・決定するとともに、K-RIPを取り巻く最新の世界情勢やビジネス環境を提供する総会・役員会を開催する。

② エコ塾

- ・会員等の相互のネットワークの構築とマッチングによるアライアンスの形成を目的として、「サーキュラーエコノミーの取込み」をテーマに、九州及び九州外の環境エネルギー分野の先導的事例や最新の動向を紹介する。
- ・福岡市中心に九州域内で定期的に開催する。
- ・特に、会員ニーズを踏まえ、環境エネルギー関連の技術やノウハウ等を有し、それを利用した新事業へ展開している企業や研究者等による取り組みと技術や市場の課題を発表し、参加者とのマッチングを強化する。
- ・会員等にリアルタイムで周知し認知度を上げるためSNS・動画配信を行う。

③環境エネルギー関連支援施策セミナー

- ・ 会員等の新分野への進出や新しいビジネスモデルの開発を支援するため、環境・エネルギー分野の新商品・サービス、海外の先進事例、新しい潮流（SDGs、サーキュラーエコノミー、AI、IoT、シェアリング）等に関するセミナー及び、太陽光等の新エネルギーの開発・保守・関連支援施策セミナーを開催する。
- ・ また、中国等の環境エネルギー市場の動向を探索するセミナーを開催する。

④オープンイノベーションピッチ

- ・ 会員等の外部の経営資源を取り込んだ新事業の創出やアライアンスを支援するため、九州域内外の大手企業等を招聘し、技術的なニーズを発表し、参加企業とのマッチングやネットワークの形成を支援するオープンイノベーションピッチを開催する。

2. ビジネス創出部会

- ・ 環境エネルギー産業の競争力の強化、環境ビジネスの育成、環境に配慮した企業経営の促進、環境エネルギー技術開発等を通じ、環境と経済が両立した経済社会の構築を図る。

(3) 令和環境クラスター大学〈K-RIP 会費 50万円〉

- ・ 持続可能な開発目標SDGsやサーキュラーエコノミーの考え方が世界的に広がり、また商品の内容や生産・販売地域や国にも変化が見られ、これらに伴い新たなビジネスモデルも創出されている。このような世界の新しい潮流に対応し、新しい発想とスキルを持った人材を育成することを目的とし令和環境クラスター大学を実施する。
- ・ 対象は、ネクストリーダーや若手ビジネスマン及び次代を担う大学生・大学院生とする。
- ・ クラスター大学は、講師による全体講義の他、複数のグループに分かれて、グループ毎に異なるテーマの専門性を持った講師を配置し、各々のテーマに沿った議論や新規ビジネス創出を想定した演習・ワークショップ及び発表会を実施し、また環境ビジネスを推進する企業の見学会、交流会等を実施し、全ての内容を終えた方には終了証を授与する。また、クラスター大学終了後もネットワーク強化を目的として、全ての講師及び受講者を対象に同窓会を実施する。
- ・ クラスター大学により参加者のネットワークの構築や、ワークショップ等を通じて新規ビジネスの足掛かりや新規ビジネスの立ち上げ手法の習得等を目指す。
- ・ なお、K-RIPの過去の人材育成のための研修事業は、平成14年度、15年度は環境クラスター大学、16年度、17年度は環境ビジネススクール（18年度は未開催）、19年度～24年度に環境クラスター大学を実施している。

(4) 地域企業イノベーション支援事業〈経済産業省委託費 2,800万円〉

- ・ 地域経済の担い手となる企業群の新事業（環境エネルギー分野）への挑戦を促すため、地域のイノベーションを支える支援機関からなる支援ネットワークの構築・強化を図る。
- ・ 事業の立ち上げから市場獲得までの、事業の成長段階に応じた総合的な支援（事業戦略策定、事業体制整備、研究開発、販路開拓、ノウハウ提供等）を実施する。

①-2℃時代を捉える「サーキュラーエコノミー（CE）九州」プロジェクト

- ・環境・リサイクル産業を対象にAI/IoT等デジタル技術を融合させた新たなビジネスモデル創出を目的として、サーキュラーエコノミー（CE）志向型の新たなビジネスモデル（直線型経済から循環型経済へ）の普及啓発を実施する。
- ・北九州市のリサイクル事業者のCE型プラリサイクルの要である「一次選別」の24時間連続運転、処理能力向上を実現する純国産高度選別システム構築に向けた体制構築・展開戦略策定の支援を実施する。
- ・宮崎県の食品地域商社や北九州市の食品残渣処理事業者のサプライチェーンの構築により地域内の資源循環ループの構築と高付加価値商品の開発支援を実施する。

②循環経済社会構築のための廃棄物減容化とリサイクルを促進する革新的ソリューション（技術・装置・システム）の開発とアジア展開事業

- ・世界的課題となっている廃棄物減容化とリサイクル促進を目的とし、舗装材料製造業、紙おむつリサイクル、廃棄物処理、廃棄物管理システム開発企業等地域企業群の製品・サービス開発から実証、国内外の販路開拓までを一貫して支援する。
- ・特に人口増や経済発展に伴う廃棄物排出量増加と処理が課題であるアジア地域を出口に、九州の革新的廃棄物減容化・リサイクル技術を持つ地域企業群をパッケージとして売り込むことを目指す。
- ・有機系廃棄物対策として従来の焼却処理ではない分解処理装置の開発・実証、石炭火力発電が多いアジア地域の石炭灰無害化・リサイクルシステムの現地実証、最終処分場容量の多くを占める紙おむつリサイクルシステムの現地化、さらに産廃の流れを管理する「見える化」プラットフォームの現地化を通して多くの有機系・無機系廃棄物を減容化するトータルソリューションの社会実装化を支援し、循環経済社会構築への貢献を目指す。

3. 国際ビジネス部会

- ・近年経済発展を遂げているアセアンの新興国及び循環経済社会の構築を重要政策に掲げる台湾を中心とするアジア地域において環境エネルギー市場が急速に拡大している背景を踏まえ、九州の環境エネルギービジネスに携わる企業の海外展開支援の枠組みの構築と具体的な案件組成を図る。

(5) 地域企業イノベーション支援事業〈経済産業省委託費 2,800万円〉〈再掲〉

- ・地域経済の担い手となる企業群の新事業（環境エネルギー分野）への挑戦を促すため、地域のイノベーションを支える支援機関からなる支援ネットワークの構築・強化を図る。
- ・事業の立ち上げから市場獲得までの、事業の成長段階に応じた総合的な支援（事業戦略策定、事業体制整備、研究開発、販路開拓、ノウハウ提供等）を実施する。

①-2℃時代を捉える「サーキュラーエコノミー（CE）九州」プロジェクト

- ・サーキュラーエコノミー（CE）志向型の新たなビジネスモデル（直線型経済から循環型経済へ）の普及啓発を実施し、サーキュラーエコノミーに関する国際的な動向等について調査・分析・情報提供を行う。

②循環経済社会構築のための廃棄物減容化とリサイクルを促進する革新的ソリューション（技術・装置・システム）の開発とアジア展開事業

世界的課題となっている廃棄物の減容化とリサイクル促進を目的とする環境エネルギー分野の技術・装置・システムの開発・実証・国内外への販路開拓を支援する。

特に人口増や経済発展著しいアジアをターゲット市場に、九州の革新的廃棄物減容化・リサイクル技術をパッケージ化し売り込む。会員企業等の具体的なニーズや課題を把握した上でアセアンをはじめとしたアジア諸国の企業等との効果的なマッチングや情報収集、相互交流を行う。

対象国は、インドネシア、ベトナム、タイ、フィリピン、他要望国。

(6) 台湾環境・エネルギー産業交流事業（（公財）日本台湾交流協会 応募予定）

経済面での輸出依存等からの脱却を目指す台湾では、内需創出や新産業育成に積極的に取り組んでいる。その中でも、グリーンエネルギー、循環経済、IoT等の産業創出・育成に力を入れている。また、日本等との連携による新興国開拓（新南向政策）も積極的に推進している。このような台湾の情勢とこれまでの交流を踏まえ、現地展示会への出展等も絡めたミッション団を派遣し、現地業界団体・企業等とのマッチングや交流を行い、プロジェクトの組成や業務提携等の具体的なビジネスの創出を推進する。

(7) ベトナム循環型経済プロジェクト形成促進事業

（（一財）貿易・産業協力振興財団助成金 100万円）

ベトナムにおいては、近年の経済成長に伴い増加している廃棄物の減容化や処理、さらに人口増等の理由による一次産業分野の生産性向上や安心・安全な生産物に対する社会的ニーズが高まっている。

これらの現地ニーズと九州が有する循環型経済・一次産業分野の技術やノウハウを結び付け、ベトナムでの事業展開を促進し、現地課題の解決を果たすことで会員企業とベトナムとの貿易・投資の拡大につなげていく。また、本事業を通じて更なる現地課題を発掘し、継続的なプロジェクトの組成に繋げていくための情報収集・調査もあわせて実施する。